

# 地域おこし協力隊

通信

VOL.88

## 観光振興担当 貞廣拓哉隊員



早いもので地域おこし協力隊として幌延町へ移住してから3年が経過しました。こんにちは、地域おこし協力隊の貞廣です。

新型コロナウイルス感染症の影響で、思い描いていた協力隊人生とは少し異なってしまいましたが、そんな状況下でも私にできることをやろうと思い、幌延町商工会さまの協力を通じて町内飲食店のテイクアウト情報チラシの制作や、サロベツ原野の湿原観察情報の定期発信、映像制作のスキルを活かしてYouTube動画の制作、テレビ出演がきっかけで始まった広尾町とのクリスマスコラボなど、さまざまなことに挑戦させていただきました。決して無駄な3年間ではなく、とても濃い日々を幌延町で過ごすことができました。



令和5年度もどうぞよろしくお願いいたします!



3月22日(水)に開催された地域おこし協力隊活動報告会にて、来年度も引き続き幌延町地域おこし協力隊として活動することを発表させていただきました。総務省の特例措置により最長2年の延長期間が設けられ、私はその延長期間で「もっと多くの人にサロベツ原野の魅力を伝える」という目標を元に活動し、これからは幌延ビジターセンターを拠点にしてサロベツ原野のPRに尽力していきます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

## 集落支援担当 中井正幸隊員



4月をむかえようやく冬の終わりが見えてきた今日この頃。昨年のクリスマス時期の大雪のときは、こんなペースで降っていたらどうなっちゃうのだろうと怯えていましたが、どうにかなるものですね。

協力隊に着任する前におためし協力隊として初めて問寒別を訪れたときに-20℃という洗礼を受けて、問寒別はとんでもないところだと思ったあの日。そんな気温でもなんととも思わなくなっていたら今年の冬はナント-32℃越え。これには流石

に驚きと共に生きている実感を得ました。後にも先にもこんな寒さを体験することはないのではと思いました。

雪解けがすすみ、わかりやすくハイテンションで散歩をする愛犬。ウォーキングを再開される方。山菜とりの話をされる方。冬季間お休みしていた各団体のお楽しみ会なども始まり、徐々に顔をあわせ「元気にしてたかい?」と会話を弾ませることもしばしばです。

なにげない日常の中で巡る季節を楽しむ一コマでした。



雪解けが進んだ問寒別